

# 会議顛末書

						記録者	関 健太	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グループ員
件 名	令和5年度第2回龍ヶ崎市図書館協議会							
年 月 日	令和6年2月15日(木)							
時 間	午後1時30分～2時43分							
場 所	龍ヶ崎市役所本庁舎5階 全員協議会室							
出 席 者	出席者 <b>【委員】</b> 杉野委員、椎塚委員、朝日出委員、山村委員、佐藤委員、長谷川委員、遠藤委員、服部委員、横須賀委員  <b>【事務局】</b> 国松課長、清水課長補佐、由利係長、徳安主事、記録者  <b>【市立図書館指定管理者】</b> 米川館長、佐久間副館長、小間分館責任者、榊原窓口責任者、永田所長、泉支援担当				傍 聴 人 数	1 人		
事務局 (国松課長)	1 開会 会議の成立(13名の委員のうち9名が出席し、龍ヶ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第25条第2項に規定している委員定数の過半数以上の出席)							
議 長	2 文化・生涯学習課長あいさつ  3 委員長の選出 委員長を山村委員に決定(議事録署名人として山村委員、朝日出委員を指名)(各委員「異議なし」)							
市立図書館	4 議 事 それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「令和6年度龍ヶ崎市立図書館事業計画(案)」について、市立図書館より説明をお願いします。							
議 長	(中央図書館及び北竜台分館の令和6年度事業計画(案)について説明)  図書館からの説明が終了しましたので質疑に入ります。 委員の皆様には、挙手をいただいた上でご質問やご発言をお願いいたします。 委員の皆様からご質問等ございますでしょうか。							

服部委員	<p>学校図書館支援の充実ということですが、学校図書室と市の図書館との関係はどうなっているのか気になっていました。重なる部分があるのか、図書館に特殊性みたいなものがちゃんとあるのか。</p> <p>今回の会議に学校図書室の司書の先生が参加されることを期待してましたが、名簿にも記載がありません。ダブっている部分は削る必要があるし、市立図書館の特殊性をもう少し前面に出したほうがいいのではないかと思います。</p> <p>私は学習塾を40年以上やっているのですが、生徒に図書館に行ったことあるかを聞くと、ほとんどの生徒が行ったことがないと答えます。なぜ行かないのか聞くと、生徒が学校で十分なのに、なぜ行くのかと聞き返してきます。わざわざ行く必要はなく、お父さんお母さんと一緒に遊びに行く場所なんだと、その程度の意識しかないのです。高校生くらいになると資料を調べるために図書館にも来る生徒がいると思いますが、小中学生ではそこまで期待できないと思います。</p> <p>もっと積極的に図書館の特殊性を前面に出したほうがいいのではないかなという、僕の意見です。</p>
中央図書館 (米川館長)	<p>学校図書館の支援ということで、出前授業で学校に出向いてお話し会などを行っています。また、レファレンス対応ということで、学校の図書では足りない資料を配送する団体貸し出しを行っています。さらに、市内小中学校生徒全員へ電子図書館のID配布ということを学校と連携して進めている最中であります。</p> <p>市内であっても小学生1人では、なかなか図書館に来られない現状があります。小学2年生の図書館見学なども行っているのでも、学校と連携しながら図書館がどのような場所かを伝えていく機会を少しずつ増やしていき、ご意見の通り図書館の特徴を活かしていきたいと思っています。</p>
服部委員	<p>私は1週間に1回、図書館に足を運び、仕事の関係から小中学校のコーナーをよく見ているのですが、先日も何年生かわからなかったですが先生に連れられて十数人の生徒が来ているのを見かけました。ただグルグル回って、本を手にする生徒はほとんどいませんでした。3人ぐらいに声をかけましたが、面白くないと言っていました。これが現実であるのかなと感じました。</p> <p>牛久の図書館は学年を低学年中学年高学年と厳密にちゃんと分けています。龍ヶ崎市の場合は全く一緒です。小学生が自分で手に取ることはほとんどないと感じます。お金をかけなくても、本の配列を工夫できると思います。小中学生のコーナーは雰囲気は10年前と変わっていません。小学生向けのコーナーの本の分類は、哲学、心理学、道徳、宗教、政治、経済、福祉などと表記されるか、著者の名前が書いてあります。小学校低学年中学年の生徒が著者名で本を探すことは、ほとんどないと思います。もう少しわかりやすく、手に取りやすいコーナーにしていきたいと思っています。</p> <p>工夫はいくらでもできると思います。良い悪いは別として、私のような意見を持った有志が集まって月2回集まって話し合いをするだけでも、有効に使えるようになる気がします。</p>
議長	<p>牛久の例をあげていただきましたが、参考になるとと思います。子どもたちが入りやすい環境を整備するのはとてもいいことだと思います。よろしく願います。</p>
遠藤委員	<p>まず電子図書館の件でお伺いします。今どれぐらいの利用者がいますか。便利な利用方法を紹介する動画を作るなど広報周知が必要と考えます。電子図書でも、音の出る図鑑や飛び出る本、読み聞かせのできる絵本などが多く出版されていると思います。それらを使えば保護者が子どもに電子図書館を通じて本を読ませるようになる気がします。</p> <p>資料の中は子ども向けの施策がほとんどですが、利用者の大部分を占めるのは高齢者であると思います。スマートフォンの利用教室などを行うことによって、高齢者の電子図書館の利用につながるのではないかなという気がします。文字が拡大できることや読み上げ機能があることを伝えられれば、電子図書館の高齢者の利用がもっと増えるのではないかなと思います。</p>

	<p>レファレンスサービスについても伺います。私は、仕事の関係で新聞記事の部分コピーを利用させていただいていますが、今後どのように利用を進めていくのかもお聞きしたいと思います。</p>
<p>中央図書館 (佐久間副館長)</p>	<p>昨年度のデータになりますが電子図書館の利用状況として登録人数は2107人となっています。電子図書館の周知の方法については、年に数回電子図書館の利用のガイダンス的な利用促進イベントなどを行っているのですが、まだまだ普及はしていない状況です。イベントに参加していただけるように今後も努力していきたいと思います。</p> <p>遠藤委員がおっしゃっていた読み上げ機能のついた絵本等便利な機能がある本は図書館にもあります。こちらも周知などが足りないのかなと思っていますので改善できるよう努力していきます。</p> <p>レファレンスサービスの件については、コピーサービスは今までと変わらず行っていきたいと思っています。先ほどの学校連携ではないですが、パスファインダーといって、紙1枚のもので龍ヶ崎市の郷土について調べるといいうものを何枚も作り、毎年更新しています。子どもたちの調べ学習の際にも使ってもらっているので、現在の図書館の特色の一つかと思っています。</p> <p>今後も引き続き行いたいと思います。また窓口などでも皆さんが尋ねやすいような環境を作ってレファレンスにも力を入れたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>私もちょっとわからなかったのですが、読み聞かせというのはタブレットで聴くこともできるのでしょうか。できるとしたら使われている方もいますか。</p>
<p>中央図書館 (佐久間副館長)</p>	<p>すべてではないですが絵本で一部そういった機能のあるものもあり、それを使った読み聞かせをイベントで行ったりもしています。貸し出しもしていますので、ご利用される方もいらっしゃると思います。</p>
<p>議長</p>	<p>もう一点確認です。コピーサービスについては、タブレット上のコピーサービスですか、それとも紙媒体である新聞紙のコピーですか。</p>
<p>中央図書館 (佐久間副館長)</p>	<p>インターネット等の複写は認められておりませんので、当日ではない紙面のコピーになります。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>図書館に来て読み聞かせをやるのではなく、家で電子図書館から借りて読み聞かせができるのは、すごく便利だと思うので利用を増やすためにも周知が必要と思います。高齢者もスマホの利用が多くなっているため、様々な雑誌を電子図書にしまえば、もっと電子図書館を利用する高齢者が出てくると思います。</p> <p>取手の図書館は100冊程の雑誌が借りられるということで、かなり好評を得ているようです。</p>
<p>中央図書館 (米川館長)</p>	<p>龍ヶ崎市の電子図書館内にも何点か雑誌が入っています。電子書籍も購入するもので、紙媒体を写して電子化する仕組みではありません。最新の雑誌はなかなかいられないのが現状です。</p> <p>ただ分館では館内貸出に限りますが、雑誌500点ぐらいの提供をタブレットで行っています。電子図書館というわけではないですが、分館であれば多くの雑誌が電子図書で見られるということはお伝えさせていただきます。</p>
<p>椎塚委員</p>	<p>私もよく分からない部分があるので教えてください。先ほどの説明からすると中央図書館と分館でシステムが違うという意味で理解していいんですか。</p>
<p>中央図書館 (米川館長)</p>	<p>電子図書館と分館でのタブレット貸出で読める電子書籍は全く別の物になります。電子図書館は図書館が運営し貸出しなどを行います。分館のタブレットで読める電子書籍は、契約したタブレットでしか閲覧できない電子書籍になり、図書館が運営している電子図書館内の書籍とは別のものになります。</p>

椎塚委員	<p>誤解を生みやすい部分であると思いますので、もう少し分かりやすく違いを教えてくださいいただけますか。</p>
中央図書館 (米川館長)	<p>電子図書館は ID とパスワードがあれば自分のスマートフォンなどでどこでも見られますが、分館の電子書籍は館内貸出のiPadでしか見ることができないのが大きな違いです。</p>
椎塚委員	<p>要するに、分館の電子書籍は限られたタブレットで分館内でしか読むことができず、中央図書館の電子図書館とは別物であり、中央図書館に分館のタブレットのような仕組みは入ってないということですね。分かりました。</p> <p>続けます。先ほどパスファインダーという言葉が出てきました。個人的な意見ですが、もっとわかり易い言葉を使ったほうがいいのかなんていうのがまず一つです。</p> <p>探求学習や郷土学習の資料の展示をしているコーナーを直接見てきました。階段の壁際に置いてあるので目立たないんです。時期に応じてちょっと場所変えたほうがいいのかと思います。</p> <p>内容を見ると去年の場合だと年に 2 回くらいテーマを決めて、撞舞のことや関東鉄道の資料の紹介をしていました。それ自体はいいと思いますが、もう少しPRしてもいいのかなと思います。作業的な部分もあるので大変だと思いますが、撞舞だったら夏のシーズンにやるなど季節性を出したり、場所を変えたり回数を増やすなどはできると思います。</p> <p>毎年繰り返すうちに新しいものを追加していけばいいので、もう少し工夫ができるのではないかと感じていますので、その辺も意見として言わせていただきます。</p>
中央図書館 (米川館長)	<p>ご意見を参考に検討していきたいと思います。</p>
横須賀委員	<p>学校図書館支援の充実のところから 2 点ほどお伺いしたいです。</p> <p>まず 1 点目になります。レファレンス対応を受けて本の配送を行っていることですが、学校からどのような方法で受け付け、配送は週に何回行うのでしょうか。</p>
中央図書館 (米川館長)	<p>学校から FAX で受け付けています。本のタイトルや、タイトルだけでなくテーマでも受付けています。配送は週 1 回月曜日に行い、貸し出しだけでなく返却も受け付けています。</p>
横須賀委員	<p>いつからはじめられましたか。</p>
中央図書館 (米川館長) 横須賀委員	<p>2020 年からです。</p> <p>私は学校司書を牛久とつくばと龍ヶ崎で 13 年ほど経験しました。牛久は同じようなシステムがすごく充実していて、配送に関わることや、システムを使って授業をどのように行ったかを国立国会図書館で発表したこともありました。龍ヶ崎では中学校で 3 年間学校司書をしていましたが、その時はそういったシステムがまだありませんでした。当時は毎週のように図書館に通い詰めて、団体貸し出しと自分の個人のカードで借りられるだけ借りて子どもたちに使ってもらっていました。</p> <p>こちらのシステムがあると、学校司書の方々はずごく助かると思います。引き続き頑張ってくださいと思います。</p> <p>2 点目の質問になります。学校図書館司書を対象とした研修会を開催していることですが、こちらは年に何回、どのような内容で今まで行ってきたのか、お聞かせください。</p>
中央図書館 (佐久間副館長)	<p>昨年は先進の図書館見学を行いました。過去には、図書館の見学や出版社の方を呼んで出版についての講話を聞くことや、POP の作り方を学ぶなど実践的な研修も行いました。</p>

横須賀委員	こちらは来年度も引き続き開催すると思いますが、そのたびに内容は変えて進めるのでしょうか。
中央図書館 (佐久間副館長)	龍ヶ崎市はあまりメンバーが変わらないので、毎年新しいテーマを吟味して研修会を開催させていただいております。
横須賀委員	研修内容というのは、学校司書の意見は反映して行っているのでしょうか。
中央図書館 (佐久間副館長)	学校司書部会に参加させていただくこともあるので、その際にどのようなテーマで行ったらいいかということを知りたいと思っています。
横須賀委員	<p>司書会議は、現在はどのような形で行われているのかわからないのですが、私が在籍時も毎月 1 回、小学校と中学校に分かれて行っておりました。牛久の方では、全小中学校の学校司書と図書館の方と指導課の方が出席して、月に 1 回会議を行っていました。実際の現場からの意見を直接いえる場でした。</p> <p>先ほど、服部委員からあったようにこの場に学校司書がいなくても、その司書会議の時に行って、実際にお話を聞くことで現場から意見が出てくるかと思います。難しいと思いますが、図書館と指導課は司書会議に出席していただいて、実際の学校図書館を見て、話をさせていただくといういろいろ気づかなかった点も出てくると思いますので、その様に進めていただけたらと思います。</p>
事務局 (清水補佐)	先ほど服部委員からも学校司書に関してご意見がありました。そういったところも踏まえ、担当課とも話しをして、何かできるようなことがないか相談しようと思います。
朝日出委員	電子図書館の普及率をみると、市民の人口に対してまだまだ少ない状況と思います。今後、普及率はどのぐらいを目指しているのか教えてください。
中央図書館 (佐久間副館長)	先ほど申し上げましたガイダンス等も行っていますが、普及率はなかなか進んでいないのが現状です。まずは学校の児童生徒に ID を配り、電子図書館を学校のタブレットで利用してもらい、そこから少しずつ登録が進んでいったらいいなと思っています。もっと普及の方に力を入れて今後頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。
遠藤委員	<p>5 番の生涯学習等のイベントの開催について伺いたいです。大人向けの部分として、NISA や相続税など経済的な問題に関するイベントを行ってほしいということ、子供に対するゲーム感覚の金銭教育などのイベントを行ってほしいです。</p> <p>それからもう一つは映画会などの開催で、月に 1 回ぐらい名画会の開催や演奏会の開催等によって、高齢者を含め大人の参加があると思います。そこで関連した電子図書の展示を行えば、もっと電子図書の利用も増えると思います。</p> <p>それともう 1 点お聞きしたいのは、私はインターネットで新着図書を検索して、そこで予約を入れて、近くのコミュニティセンターに配送してもらう方法を利用していますが、新着図書はいつ入ってくるのか、曜日などが決まっていますか。</p>
中央図書館 (米川館長)	<p>最初のご意見、貴重なご意見いただきましたので、図書の利用を進めるということに関して、いろいろな講座を検討していきたいと思っています。</p> <p>次に新刊が何曜日の決まったときに入るかというご質問なんですが、曜日は決まっておりません。入ってきたものを随時登録して提供していますので、もし新刊でまどめてみたいという場合は、ホームページの OPAC 検索で新着図書をクリックしていただくと、一覧で閲覧できますので、そちらから選んでいただければと思います。</p>
服部委員	新刊図書について、予約状況を見ると何十人待ちと表示されますが、新刊というのは基本的に何冊注文購入されていますか。

<p>中央図書館 (米川館長)</p> <p>議長</p>	<p>図書館ですので基本的に1冊購入します。ただ、予約の方が20人以上になった場合は副本を1冊購入して提供しております。その他に市民の方から寄贈などがあれば、その分冊数が増えて複数の副本で皆さんに提供することができます。</p> <p>他にご質問等がないようでしたら、「令和6年度龍ヶ崎市立図書館事業計画(案)」について承認したいと思いますよろしくお願いします。</p> <p>(各委員異議なし)</p> <p>それでは、承認いたします。図書館には会議の意見を今後の運営に反映していただきたいと思います。</p> <p>ほかに連絡事項等がなければ、これで令和5年度第2回図書館協議会を閉会いたします。慎重なご審議、ありがとうございました。</p> <p>※議長：龍ヶ崎市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第25条第1項により会議の議事進行について、山村委員長が会議の議長を務める。</p> <p>令和6年2月15日に開催された龍ヶ崎市図書館協議会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和6年 3月7日</p> <p>議事録署名人 <u>山村 尚</u></p> <p>議事録署名人 <u>朝日出 貴子</u></p>		
<p>要措置事項</p>			
<p>情報公開</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開</p>	<p>非公開(一部非公開を含む)とする理由</p> <p>公開が可能となる時期(可能な範囲で記入)</p>	<p>(龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当)</p> <p>年 月 日</p>

※ この様式は、会議顛末書の他、報告書(人事課に提出する研修報告書は除く)、交渉記録簿、打合せ顛末書等に適宜表題を変更して使用します。